

明日香村における歴史的風土の創造的 活用による成果について

第2次明日香村整備計画までは盛り込まれていなかった「歴史的風土の創造的活用」の視点が、第3次計画から新たに加わり、これまでの10年以上にわたる取り組みを通じて、成果が目に見える形で表れつつある。

第1次明日香村整備計画 (S55~H1)



第2次明日香村整備計画 (H2~H11)

・生活環境施設の整備 ・農林業等の産業振興 ・遺跡の調査、史跡の整備等



第3次明日香村整備計画 (H12~H21)



第4次明日香村整備計画 (H22~H31)

・歴史展示の推進 ・観光、交流の振興 ・歴史的風土を活用した地域活性化等

新たに「**歴史的風土の創造的活用**」の視点が追加



以下のような“**取り組みの成果**”が表れつつある

- ① バーチャル技術等による歴史体験の実現
- ② スマートフォンアプリを使った周遊観光の実現
- ③ 飛鳥ブランド品など魅力溢れる特産品の充実
- ④ 農産物の直売を通じた都市との交流の活性化
- ⑤ 特産品や食事などを通じた農と食のおもてなしの実現
- ⑥ 民泊や農業体験などを通じた明日香らしさの体験の実現
- ⑦ 特色ある景観の保存による歴史的風土の体感の実現



成果①バーチャル技術等による歴史体験の実現

コンピューターグラフィックスによる遺跡の復原映像や築造過程の再現映像を制作し、それを教育現場や観光でのバーチャル体験に活かすことで、地中に埋もれた遺跡を分かりやすく体験できるようになった。

地中に埋もれた遺跡の当時の姿を実感することができない。

コンピューターグラフィックスによるストーリー性を持った再現映像の制作
(交付金事業)



飛鳥寺CG



石舞台古墳CG



水落遺跡CG



飛鳥京CG



川原寺跡

手軽なタブレットやスマートグラスなどの活用
(交付金事業)

タブレットによる解説(石舞台)



スマートグラスによる解説



バーチャル体験(川原寺)



バーチャル体験を通じて遺跡の当時の姿を実感できる。

課題 国・県・村など関係主体間の連携のもと、引き続き、歴史展示の取組みを進める必要。

成果②スマートフォンアプリを使った周遊観光の実現

スマートフォンアプリの開発により、飛鳥京のイラストマップと現在地を連動させたり、動画や音声による解説を織り交ぜることができ、従来の紙マップよりも分かりやすさと楽しさが加わった新たな周遊観光のスタイルを体験できるようになった。

遺跡の解説や食事処などの情報をすぐに得ることができない。

明日香観光の魅力を4か国語で知ることができる「あすかなび」の開発
(交付金事業)



見どころ、買い物、食事処のほか、トイレ、休憩所、バス停、レンタサイクル、バリアフリー情報等を案内。



紙のマップ

スマートフォンアプリ「なら飛鳥京ぶらり」の開発
(整備計画事業)



GPS機能を活用し、飛鳥京再現イラストマップ上に現在地を表示しながら、動画や音声ガイドが流れる。



スマートフォンやタブレットによる情報収集、周遊案内

スマートフォンアプリを活用することで分かりやすく楽しい周遊観光ができる。

課題

国・県・村など関係主体間の連携のもと、引き続き情報発信の取組みを進める必要。

成果③飛鳥ブランド品など魅力溢れる特産品の充実

明日香村産農作物を使用した特産加工品や飛鳥ブランドの認定商品などが多種多様になり、村内の直売所やインターネットによる購入を通じて広く国民に消費されることで、明日香村の農の価値を知ることができるようになった。

お土産に買って帰るような商品が少なく、明日香村の農の価値がわからない。

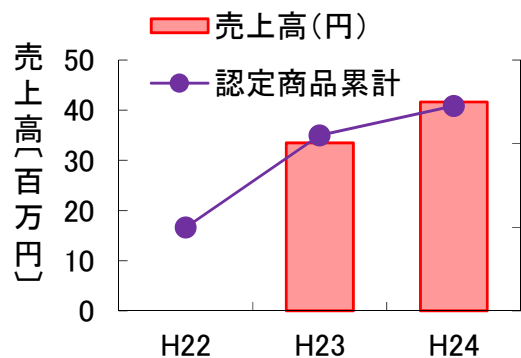
「飛鳥宅急便」を通じたネットを使った通信販売の展開
(整備計画事業)



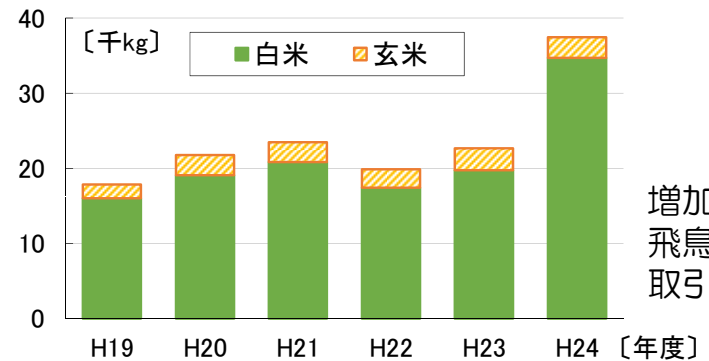
明日香村産農作物を使用した特産加工品の開発や飛鳥ブランドの認定
(整備計画事業)



増加する飛鳥ブランドの認定と売上高



認定商品累計数(点)



増加する飛鳥米の取引件数

飛鳥ブランドなどの魅力ある商品を通じて農の価値を知ることができる。

課題

6次産業化の継続・発展など明日香らしい地域活力・魅力の向上が引き続き必要。

成果④農産物の直売を通じた都市との交流の活性化

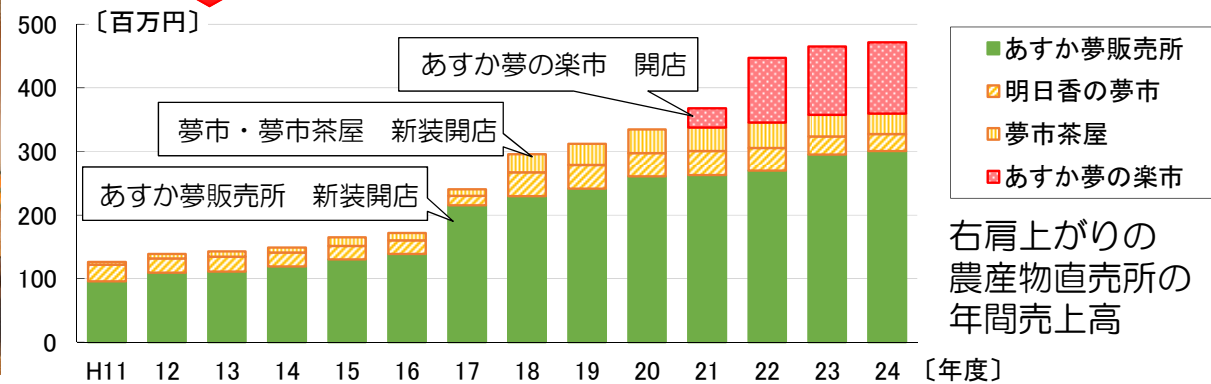
村内各所に農産物直売所を設置することにより、近隣都市の住民が明日香村で採れた地元産の新鮮な農産物を購入するために来村するなど、都市と明日香村との交流も活発化している。

明日香村産の新鮮な農産物を買う場が少なく、都市との交流も少ない。

明日香村で生産された新鮮野菜等を直売所で販売 (整備計画事業)



近隣都市からの多くの訪問客で賑わう直売所



直売所で地元産の新鮮な農産物を購入できるなど都市との交流も活性化。

課題 都市との交流の継続・発展など明日香らしい地域活力・魅力の向上が引き続き必要。

古民家を活かしたレストラン、カフェが増えており、古の雰囲気とともに料理を楽しむことができるようになった。また、チャレンジショップがオープンし、新しい店舗が増えて食事や買い物を楽しめるようになった。

買い物や食事ができる店が少なく、明日香らしさを体感できない。

空き家バンクシステムの運用による空き家の店舗利用 (交付金事業)



特産品や雑貨などが充実した店舗



空き家を活用した古民家の雰囲気を活かして、観光客や地元住民でにぎわうレストラン



農商工観連携施設である「明日香夢の旬菜館」の開業 (平成25年)

(整備計画事業)



チャレンジショップの新設と運営 (平成25年度)



地元農産物を活かした料理を提供するレストラン、カフェ

地元特産品の購入や古の空間での食事などを通じたおもてなしを体験できる。

課題 空き家の活用の継続・発展などによる明日香らしい地域活力・魅力の向上が引き続き必要。

成果⑥民泊や農業体験などを通じた明日香らしさの体験の実現 国土交通省

国内をはじめアジア諸国からの教育旅行の受け入れを拡大したことで、民家に泊まり、郷土料理を食べ、村の歴史、遺跡、風習などに触れ、農作業を行うことなどを通じて、より明日香らしさを体感できるようになった。

明日香らしさを体感できる宿泊観光を行うことができない。

教育旅行の民泊の推進
(村独自事業)



村内の民宿

海外からの教育旅行の受け入れ
(村独自事業)



教育旅行の受け入れ人数
H23年度： 76人
H24年度： 197人
H25年度： 1,943人
(延べ2,586泊)

教育旅行での
郷土料理づくり体験



教育旅行での農業体験

民泊や農業体験などを通じて明日香らしさを体感できる。

課題

明日香らしい滞在型観光の実現や、魅力的な体験メニューの充実が必要。

NPO・企業・大学等のボランティア活動のほか、建築物等のデザイン修景の誘導、集落単位の景観計画の作成を契機とした住民主体の景観保全の取り組みなどにより、明日香らしい特色ある景観が守られ、往時の歴史的風土を引き続き感じることができる。

万葉集にも詠われた特色ある歴史的風土が残されている。



明日香らしい特色ある景観が守られ、往時の歴史的風土を感じることができる。

課題 集落単位の景観形成の取組みを広めるなど、引き続き歴史的風土の保存が必要。